

## ■法学政治学研究科の学位授与の方針 (Diploma Policy ; DP)

法学政治学研究科では、「グローバル化と情報化が進展する現代社会において、幅広い視野、正確な分析力、的確な判断力、高度な社会科学的思考力を備えるとともに、法学と政治学の専門的研究能力を備え、社会や学界に貢献する豊かな研究成果を生み出すとともに、社会問題の解決に貢献できる人材の育成」を研究科の理念・目的として掲げている。

この理念・目的に即して、博士前期課程、博士後期課程において、以下の条件を満たし、本方針をふまえて作成された本研究科の教育課程において所定の単位を修得した大学院生に対して「修士（法学）」又は「修士（政治学）」、「博士（法学）」又は「博士（政治学）」の学位を授与する。

### <法学政治学研究科>

#### <法律学専攻>

##### 博士前期課程

###### 【有用な研究課題の設定】

(DP1) 専門学界における問題意識及び研究状況を俯瞰したうえで、学界及び社会にとって有用で適切な課題を設定する能力を身に付けている。

###### 【研究能力及び基礎的発信力】

(DP2) 先行研究の正確な理解を踏まえて、信頼性が高い研究を遂行し、学会において発表したり、論文を執筆したりする能力を身に付けている。

##### 博士後期課程

###### 【革新的な研究課題の設定】

(DP1) 最新の研究水準を把握したうえで、社会において必要とされる新たな課題を発見し、学問分野に新たな知見をもたらさうる最先端の研究課題を設定できる高度な研究能力を身に付けている。

###### 【創造的な研究能力及び国内外における発信力】

(DP2) 新たな学問的課題に取り組む研究能力を身に付けるとともに、それを国内外の学会や専門雑誌などで発表し、関係研究者との議論に積極的に参画したり、共同研究に参加したりする能力を身に付けている。

#### <政治学専攻>

##### 博士前期課程

###### 【有用な研究課題の設定】

(DP1) 最先端の研究成果を含めた専門学界の現状を俯瞰した上で、社会と専門学界において有用で適切な課題を設定する能力を身に付けている。

###### 【研究能力及び基礎的発信力】

(DP2) 先行研究の理解を踏まえて、信頼性が高い研究を遂行する能力及び適切な方法で発表する力を身に付けている。

##### 博士後期課程

###### 【革新的な研究課題の設定】

(DP1) 既存の研究を批判的に検討し、新たな学問的課題を発見する能力を身に付けている。

###### 【研究の遂行力と発信力】

(DP2) 自らの革新的な研究を遂行し、国内外の学会や専門雑誌などで発表し、関係研究者との議論に積極的に参画したり、共同研究に参加したりする能力を身に付けている。